

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 牧野フライス製作所
 コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牧野 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細島 英一
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東大

TEL 046-284-1844

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	23,288	—	△52	—	519	—	△138	—
20年3月期第1四半期	26,666	△1.5	2,141	△13.6	2,765	21.8	1,556	21.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1.19	—
20年3月期第1四半期	13.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	164,452	99,805	99,805	59.0	59.0	830.21
20年3月期	171,652	98,520	98,520	55.8	55.8	819.77

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 97,058百万円 20年3月期 95,840百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	65,000	—	5,500	—	5,500	—	3,500	—	29.94
通期	140,000	5.5	13,000	△11.0	12,500	△8.9	8,000	△11.1	68.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 119,944,543株 20年3月期 119,944,543株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 3,036,794株 20年3月期 3,033,527株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 116,908,983株 20年3月期第1四半期 119,478,096株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期において、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安に加え、原油をはじめとする原材料価格の急速な高騰から、世界的な景気後退が懸念されています。工作機械の需要に対してもそれぞれの地域で影響を与えました。

このような環境下において当社の受注は、日本においては、全体として伸び悩んでいます。しかし、前第4四半期に大きく落ち込んだ金型向けは、わずかながら増加に転じました。中国はIT関連の設備投資が停滞していますが、アジア全体としては活発な引き合いもあり、前年同期比で横ばいでした。米国においては、自動車、航空機産業では燃費効率の良いものへ需要がシフトし、石油関連産業を中心とする資源開発が繁忙な状況が続き、前年を上回りました。ヨーロッパは、自動車、航空機産業からの底堅い設備投資が続き、受注は前年を上回りました。

このように激変する市場環境下にあっても、当社は顧客の製品開発が加速するのに必要な先進的技術を提供するように努めています。市場ニーズに的確に応える体制を整えることにより、いくつかの製品を開発しました。

原油高は、自動車及び航空機産業の低燃費化を加速させました。航空機需要の高まりが、早急な切替えを進めています。アルミ製の航空機用構造部品加工に特化したMAGシリーズが受注を伸ばしています。構造部品の大半をしめる小型部品に向けて、5軸制御横形マシニングセンタ「MAG1」を発表しました。さらに、燃費効率改善のための新しい航空機の開発に伴う難削材に対応した新機種も投入していきます。次に、これまでの5軸加工機にはない精度と高速性を兼ね備えた5軸制御立形マシニングセンタ「D500」の出荷を開始しました。航空機部品の加工、技術革新がすすむ自動車部品の試作及び5軸を使用した金型加工が効率的に行えます。また、金型のベースプレートを加工する立形マシニングセンタ「FB127」を開発しました。ベースプレートの精度を高めることによって金型の組み合わせ調整時間を大幅に削減でき、リードタイム短縮に寄与します。

このような状況のもとで、当第1四半期における連結売上高は、例年低い水準の第1四半期において大型横形マシニングセンタの生産が今第2四半期に集中することなどの理由から前年を下回りました。連結売上高232億88百万円（前年同期比：12.7%減）、連結営業損失52百万円、連結経常利益5億19百万円（前年同期比：81.2%減）、連結四半期純損失1億38百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は受取手形及び売掛金の減少や固定資産の増加などにより72億円減少し、1,644億52百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金や借入金の減少などにより84億84百万円減少し、646億47百万円となりました。純資産は12億85百万円増加し、998億5百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは売上債権の減少144億11百万円や仕入債務の減少76億55百万円などにより28億11百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの状況は有形固定資産の取得等により30億28百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済12億97百万円や配当金の支払い8億79百万円などにより25億68百万円の減少となりました。

この結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ23億9百万円減少し233億12百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績につきましては、平成20年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 当第 1 四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。
- ③ 当第 1 四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成 18 年 5 月 17 日 実務対応報告第 18 号）を適用しております。
- ④ 在外子会社の収益及び費用は、従来当該子会社の期末日の直物為替相場により換算しておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より期中平均相場による換算に変更しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第 1 四半期 連結会計期間末 平成 20 年 6 月 30 日	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成 20 年 3 月 31 日
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
現金及び預金	20,939	21,002
受取手形及び売掛金	32,596	45,313
有価証券	2,991	4,737
たな卸資産	42,774	36,812
その他	5,661	6,002
流動資産合計	104,963	113,867
II 固定資産		
有形固定資産	39,446	38,735
無形固定資産	855	797
投資その他の資産	19,187	18,251
固定資産合計	59,489	57,785
資産合計	164,452	171,652

科 目	当第 1 四半期 連結会計期間末 平成 20 年 6 月 30 日	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成 20 年 3 月 31 日
	金 額	金 額
(負債の部)		
I 流動負債		
支払手形及び買掛金	20,930	28,308
短期借入金	4,329	4,491
1年以内に返済予定の長期借入金	2,586	3,731
未払法人税等	906	2,221
役員賞与引当金	—	70
その他	13,940	12,424
流動負債合計	42,693	51,247
II 固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,773	4,925
退職給付引当金	1,728	1,625
役員退職引当金	1,241	1,503
その他	4,210	3,829
固定負債合計	21,953	21,884
負債合計	64,647	73,131
(純資産の部)		
I 株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	44,119	45,171
自己株式	△2,235	△2,233
株主資本合計	93,743	94,797
II 評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,850	4,254
為替換算調整勘定	△1,535	△3,211
評価・換算差額等合計	3,315	1,043
III 少数株主持分	2,747	2,680
純資産合計	99,805	98,520
負債純資産合計	164,452	171,652

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当第 1 四半期連結累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日	
	金 額	百分比 (%)
I 売上高	23,288	100.0
II 売上原価	16,379	70.3
売上総利益	6,909	29.7
III 販売費及び一般管理費	6,962	29.9
営業損失(△)	△52	△0.2
IV 営業外収益		
受取利息及び配当金	155	
為替差益	622	
その他の営業外収益	157	
営業外収益合計	935	4.0
V 営業外費用		
支払利息	100	
その他の営業外費用	262	
営業外費用合計	363	1.6
経常利益	519	2.2
VI 特別損失		
固定資産除却損	4	
特別損失合計	4	0.0
税金等調整前四半期純利益	514	2.2
法人税等	583	
少数株主利益	69	
四半期純損失(△)	△138	△0.6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	当第 1 四半期連結累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	514
減価償却費	862
売上債権の減少額(△増加額)	14,411
たな卸資産の減少額(△増加額)	△4,714
仕入債務の増加額(△減少額)	△7,655
その他	1,182
小計	4,599
利息及び配当金の受取額	153
利息の支払額	△72
法人税等の支払額	△1,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,811
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,484
有形固定資産の売却による収入	16
その他	△560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,028
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△388
長期借入金の返済による支出	△1,297
配当金の支払額	△879
自己株式の取得による支出	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,568
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	477
V 現金及び現金同等物の増減額	△2,309
VI 現金及び現金同等物期首残高	25,621
VII 現金及び現金同等物四半期末残高	23,312

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨て)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去	連結
I 売上高及び営業損益							
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	12,740	5,225	4,942	3,758	26,666	—	26,666
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,383	1,231	154	1	16,771	(16,771)	—
計	28,124	6,457	5,096	3,760	43,438	(16,771)	26,666
営業費用	26,295	6,376	5,069	3,606	41,348	(16,823)	24,524
営業利益	1,828	80	27	153	2,089	51	2,141

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア …シンガポール

アメリカ …アメリカ

ヨーロッパ…ドイツ

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨て)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去	連結
I 売上高及び営業損益							
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	9,225	3,849	5,945	4,269	23,288	—	23,288
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,012	1,213	133	10	15,370	(15,370)	—
計	23,237	5,063	6,078	4,280	38,658	(15,370)	23,288
営業費用	23,479	5,510	5,945	4,001	38,936	(15,595)	23,341
営業利益又は 営業損失	(242)	(447)	133	278	(278)	225	(52)

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア …シンガポール

アメリカ …アメリカ

ヨーロッパ…ドイツ

3. 海外売上高

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨て)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	4,938	3,581	7,247	486	16,253
II 連結売上高					26,666
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	18.5	13.4	27.2	1.8	61.0

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ …アメリカ・カナダ・メキシコ

ヨーロッパ…ドイツ・イタリア・イギリス

アジア …中国・インド・韓国・シンガポール

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日) (単位: 百万円未満切捨て)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	6,077	4,987	4,937	470	16,473
II 連結売上高					23,288
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	26.1	21.4	21.2	2.0	70.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ …アメリカ・カナダ・メキシコ

ヨーロッパ…ドイツ・イタリア・イギリス

アジア …中国・インド・韓国・シンガポール

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

該当事項はありません。

〔参考資料〕 (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	前第 1 四半期連結累計期間 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日	
	金 額	百分比 (%)
I 売上高	26,666	100.0
II 売上原価	17,904	67.1
売上総利益	8,761	32.9
III 販売費及び一般管理費	6,619	24.8
営業利益	2,141	8.1
IV 営業外収益		
受取利息及び配当金	149	
その他の営業外収益	636	
営業外収益合計	785	2.9
V 営業外費用		
支払利息	144	
その他の営業外費用	18	
営業外費用合計	162	0.6
経常利益	2,765	10.4
VI 特別利益		
固定資産売却益	12	
特別利益合計	12	0.0
VII 特別損失		
固定資産除却損	5	
特別損失合計	5	0.0
税金等調整前四半期純利益	2,772	10.4
法人税等	1,075	
少数株主利益	139	
四半期純利益	1,556	5.8

〔参考資料〕 (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前第 1 四半期連結累計期間 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,772
減価償却費	732
売上債権の減少額(△増加額)	10,921
たな卸資産の減少額(△増加額)	△2,947
仕入債務の増加額(△減少額)	△7,521
その他	1,056
小計	5,014
利息及び配当金の受取額	149
利息の支払額	△112
法人税等の支払額	△3,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,741
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,163
有形固定資産の売却による収入	132
その他	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△95
長期借入金の返済による支出	△400
配当金の支払額	△1,077
自己株式の取得による支出	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,584
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	122
V 現金及び現金同等物の増減額	△743
VI 現金及び現金同等物期首残高	27,761
VII 連結子会社増加に伴う現金及び 現金同等物の増加額	384
VIII 現金及び現金同等物四半期末残高	27,402

〔参考資料〕受注及び販売の状況

当社グループは工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。以下は機種別の状況を記載しております。

1. 受注の状況

受注高

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前第 1 四半期連結累計期間 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日		当第 1 四半期連結累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日	
	金 額	比率 (%)	金 額	比率 (%)
マシニングセンタ	23,832	68.8	24,544	70.4
放電加工機	3,178	9.2	2,746	7.9
フライス盤	242	0.7	343	1.0
その他	7,399	21.3	7,226	20.7
合計	34,652	100.0	34,860	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前第 1 四半期連結会計期間末 平成 19 年 6 月 30 日		当第 1 四半期連結会計期間末 平成 20 年 6 月 30 日	
	金 額	比率 (%)	金 額	比率 (%)
マシニングセンタ	40,564	85.1	47,747	86.5
放電加工機	3,506	7.3	4,053	7.3
フライス盤	294	0.6	340	0.6
その他	3,317	7.0	3,088	5.6
合計	47,683	100.0	55,229	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前第 1 四半期連結累計期間 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日		当第 1 四半期連結累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日	
	金 額	比率 (%)	金 額	比率 (%)
マシニングセンタ	17,620	66.1	15,385	66.1
放電加工機	2,370	8.9	1,614	6.9
フライス盤	240	0.9	171	0.7
その他	6,435	24.1	6,116	26.3
合計	26,666	100.0	23,288	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。